

PI 報告会アンケート結果(2017.03.14)

1.性別、ご所属にチェック（レ）を記入してください。

①性別

女性	男性
14	8

②職務

教授	准教授	講師	助教	助手
7	6	0	5	0
PD・研究員	大学院生（博士）	大学院生(修士)	学部生	職員
1	0	0	0	3

③所属

神戸大学	関西学院大学	兵庫県立大学
11	6	5
工学研究科 2 人間発達環境学研究科 3 人間発達環境 保健学 人文学研究科	理工・生命科学 理工 文 理工学部	環境人間学部 2 自然環境研究科 生命理学研究科 看護

2.本報告会開催に関する情報をどこで知りましたか？

ホームページ	ポスター	メール	その他	無回答
0	1	12	8 ・事務から（関学）（神大） ・部局総務係りより連絡（神大保健） ・共同研究者より（県立）	2

3.本報告会は意義あるものと思われましたか？

大変意義があった	意義があった	あんまりなかった	意義はなかった	その他（具体的に）	無回答
9	9	0	0	1	3

その他：成果報告であり、義務として必要。

4.女性研究者研究活動支援事業（連携型）および連携型共同研究をご存知でしたか？

よく知っていた	聞いたことがあった	全くしらなかった
17	4	1

5.本報告会に関する感想などをご自由にお書き下さい。

- ・ 報告会の中で、この支援事業がどのような役割を果たしたのかを含めて話を聞ければよいと感じた。
- ・ しゃべりすぎたかもしれないですね。ごめんなさい。
- ・ 専門外の研究内容が聞けて興味深かった。このプロジェクトが、次のステップに進むための良いきっかけになることを祈ります。
- ・ このようなプロジェクトが進むと、人的つながりと資金的なサポートの相乗効果が研究を進めていくことになると感じました。
- ・ 本報告会に参加でき、研究領域・大学においてこれまでマイノリティ PI として、精神的に大変に思うことが多かったが、本事業でもサポートされていることを実感できて良かった。勇気ももらいました。
- ・ 学際的な研究発表が多く、連携研究という枠組みがある。助成金の仕組みの有効性を感じました。
- ・ 他分野の連携の重要性を改めて感じました。ありがとうございました。
- ・ 他領域の研究について知るのはよい機会であったが、もう少し時間があってもよいかと思った。(ディスカッションの時間を多く取る)
- ・ 分野が異なっても、論理が明確だと研究内容はわかります。逆に言うと、自分の研究も分野の異なる方に説明する練習になると思いました。
- ・ 本日発表者のメンターとして参加いたしました。研究の進捗を確認できました。三大学の女性研究者の共同研究のサポートという取組みは、素晴らしいと感じました。
- ・ 特に同分野で、女性が熱意を持って研究に取り組んでいたことに感銘を受けた。
- ・ 研究に支援をいただきまして、ありがとうございました。
- ・ 人文社会系の研究は、やはり女性研究者ならではの物があったと思います。学域を超えた研究交流の可能性を感じました。(研究グループの組み方 etc)

6.今後の企画に関するご希望など、ご自由にご記入ください。

- ・ 研究環境、大学業務を含めた労働環境の改善に向けたテーマで。
- ・ 女性研究者が交流できるような機会。
- ・ 端々に出ていた研究条件、環境について問題を明らかにする必要があると思いました(男女問わず)。